

プラスチック処理・再生利用技術情報シート

記入年月日：2012年1月18日

情報No	K-11-4	情報区分	プラ処理協研究報告	ファイリング場所	プラ処理協書棚
------	--------	------	-----------	----------	---------

題名 報告書名	樹脂加工におけるインベントリデータ調査報告書<更新版>第2版				
報告年月	2011年12月	ページ数	56	著者・出版元	プラ処理協

【キーワード】

処理方式		要素技術	LCA,LCI,環境負荷評価
樹脂類別	LDPE,HDPE,LLDPE,PP,PS,HIPS,PET,各種樹脂	化学物質名	
形状別	フィルム,ラミネート加工品,型物成形品,シート,シート成形品	用途別	
法規制		国別	日本

調査研究内容	<p>(社)プラスチック処理促進協会は、毎年、プラスチックのLCA（ライフサイクルアセスメント）をテーマとする調査研究を実施してきた。これまで、以下のLCI（ライフサイクルインベントリ）データを構築し、合成樹脂加工産業および合成樹脂製品の利用産業における製品のLCI分析に不可欠な基礎的な情報として発信してきた。</p> <p>①「石油化学製品のLCIデータ調査報告書」1999年7月 ②「樹脂加工におけるインベントリデータ調査報告書」2000年1月 いずれも発行から10年程度経過したので更新することにした。 ①については一昨年次の更新版③を発行した。 ③「石油化学製品のLCIデータ調査報告書」更新版 2009年3月</p> <p>本調査内容は、上記②のデータを更新すると共に、前回は対象にすることができなかった製品のデータ構築に努め、加工製品のLCIデータベースを拡充することにある。</p>
調査研究結果	<p>ラミネートフィルム、各種シートなどの成形品を新規に追加したことで、拡充することができた。さらに、原単位データとして汎用的に使用できるようなアベレージデータの算出に努めた結果、ご協力いただいた工業会のお力添えもあり、射出成形品や中空成形品ほか多数の製品で、広範に使用できる原単位の作成ができた。それらを含め、今回の更新版の特徴は以下の通りにまとめられる。</p> <p>①製品種類を拡充した。 ②汎用的に使用可能なデータを作成した。 ③GHG（温室効果ガス）係数を算出した。 ④CFP（カーボンフットプリント）制度に伴うデータニーズがあった。 ⑤注意点としては、データ項目（収集範囲の前提等）にデータ使用者が目的に応じて留意を要する。</p>

	<p>本調査の実施に際して、データ収集および処理は(株)産業情報研究センターに委託した。所要データの提供では、日本ポリオレフィンフィルム工業組合、日本ポリプロピレンフィルム工業会、日本ポリエチレン製品工業連合会、発泡スチレンシート工業会、全国プラスチック食品容器工業組合、日本フォームスチレン工業組合、PETトレイ協議会に多大なご協力を頂いた。深く御礼を申し上げたい。</p>
<p>備考</p>	<p><更新版>第2版の変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<更新版>初版をベースにして、カーボンフットプリント制度・共通原単位として登録すべく申請手続きを取り、同申請データの審査の過程でいくつかの質問を受け、表記等に加筆修正を加えた補足資料を提出して、同登録データとして審査に合格した。この審査過程で加筆修正した内容に基づき、改訂した。 ・その他、皆様よりご指摘いただいた誤り・記述を修正した。勿論これまでの正誤表の内容は全て修正。 ・可能な限りデータ資料を大きくして見やすくした。資料1～39及び表5と表6は2倍の大きさにした。